

ふくおか

一般社団法人 福岡県学校歯科医会

県学歯

2020.1 No.93



苅田町 神幸祭

Contents

○巻 頭 言	杉原 瑛治	1
○第24回福岡県学校歯科保健研究大会		2
実践活動報告①	穴井 由貴	3
実践活動報告②	西峯 幸子	3
基調講演	高村 聖一	4
特別講演	牧 憲司	4
○令和元年度第6回福岡県よい歯の学校表彰について報告		5
○展示コーナーから		6
○令和元年度 全国学校保健・安全研究大会・第69回全国学校歯科医協議会	平瀬 久義	7
○令和元年度 福岡県若年教員研修（養護教諭）報告	柳迫 正俊	7
○GO!!学校へ行こう	岩永 典人	8
○歯 鏡	松田 宏一	9
○郡市区だより		
京 都	白川 安彦	10
豊前築上	平良 祥	11
直 方	久原佐知子	12
○令和元年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」受賞者		13
○令和元年度 歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞作品並びに講評		16
○令和元年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」審査結果		17
○郡市区だより		
宗 像	入江 祐彰	18
筑 紫	岡村 博久	19
朝 倉	古賀 祥朗	20
八女筑後	坂田 人志	21
柳川山門	梶島 俊作	22
大 牟 田	和田 浩利	23
小 倉	上田 雄造	24
戸 畑	柴田 和成	25
八 幡	楠本 俊司	26
○表 彰		27
○事業報告、会務報告		28
○物故会員、公告、予告、新役員紹介、編集後記		29

新年を迎えて

会 長 杉 原 瑛 治



新年おめでとうございます。先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

また昨年は、本会会務に対しご支援を賜りましたことを深く感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

この度、平成28年12月21日に中教審の答申が出され、それを踏まえ、幼・小・中・高等学校の指導要領が改定されました。幼・小・中学校については平成29年3月に告示、高等学校は平成30年3月に告示され、平成31年4月から一年おきに、小学校から順次全面実施を迎えます（幼稚園：平成30年4月実施）。これに伴い、今までの保健学習・保健指導の部分が保健教育に統一され、保健教育・保健管理・組織活動が学校保健の3つの柱として示されました。新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実を目標に方向性が決まったようです。このような変化に基づいて、わたしたちの指針となる『歯・口の健康づくりの活動指針』も改定になります。会員の先生方には保健管理の健診業務だけではなく、保健教育の部分にも助言が必要になる機会があります。さらなる『歯・口の健康づくりの活動指針』の活用をお願い申し上げます。毎年繰り返される児童・生徒への指導は、成人になってからの生活習慣の形成見直しや健康寿命の延伸が目的です。最近、健康無関心層が増えているとも言われています。高校生女子におきましては、集団教育の最終学年としての保健教育の必要性も言われています。学校歯科医として児童・生徒たちに何を指導するか今一度振り返っては如何でしょうか。今盛んに2040年頃を展望し、「誰もがより長くより元気に活躍できる社会の実現をめざして」ということが語られています。学校歯科医の将来、子供たちの未来を想像しながら巻頭の言葉とします。終わりにになりましたが、お身体に十分ご留意いただき、益々のご活躍を祈念いたします。



第24回福岡県学校歯科保健研究大会 開催



令和元年11月16日（土）、福岡県歯科医師会館5階大ホールにて第24回福岡県学校歯科保健研究大会が開催された。当日は、福岡県教育委員会、日本学校歯科医会、福岡県歯科医師会をはじめ多数の来賓にご出席いただいた。また、学校歯科医、養護教諭、学校栄養士、歯科衛生士、学校教育関係者など、トータル296名にご参加いただいた。

表彰式では、団体表彰として飯塚学校歯科医会、よい歯の学校表彰として県内3校の校長・学校歯科医が表彰され、歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールならびに健康啓発標語コンクールの優秀作品に対し、福岡県学校歯科医会会長賞ならびに福岡県教育委員会賞の賞状が児童・生徒7名に手渡された。引続き「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」～発育期における生きる力を育む学校歯科保健～の主題の下、小学校2校による実践活動報告並びに、基調講演と特別講演が行われた。

展示コーナーでは当会をはじめ、日本学校歯科医会、福岡県歯科衛生士会、その他多くの企業のブースが設けられ、来場者で賑わった。

本研究大会では、生涯にわたる健康の保持増進に向けた様々な取り組みを知ることができます。また来年も開催予定ですので、皆様の参加をこころよりお待ちしております。



杉原会長



日本学校歯科医会 川本会長



福岡県歯科医師会 大山会長

テーマ「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」

～発育期における生きる力を育む学校歯科保健～

実践活動報告①

「いつまでも健康な歯・口を保つための自己管理能力の育成」

～生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり 推進事業の取組を通して～

桂川町立桂川東小学校 養護教諭 穴井 由貴



桂川東小学校は、平成29・30年度日本学校歯科医会委嘱「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の研究指定を受け学校全体での活動を行った。歯・口の健康づくりにおける自己管理能力の育成を目指した。

歯・口の健康に関するアンケート及び歯科健康診断を実施したところ、朝夕の歯磨きがきちっと出来ていないことが判明した。

そこで

- ①「お口キラキラ東っ子」と題し日常の活動
- ②教科における指導
- ③保護者への啓発

この3つの課題に取り組んだ。

日常の活動では食事中のかみ方指導—カミカミタイム 食後のうがい、歯磨き指導—ブクブクタイム、シャカシャカタイムそして鍼灸師による姿勢教室・インナーマッスルトレーニングを行った。

教科における指導では、歯科医師・歯科衛生士と連携して歯と口に関する授業をおこなった。

保護者への啓発では「かていぐんぐん」の取り組み「おくちキラキラ東っ子」学級通信で、家庭でも継続して取り組んでもらえるように保護者にも協力いただいた。

その結果、自分の歯・口の健康を保つための行動ができるようになり、習慣化してきた。

実践活動報告②

「歯や歯ぐきの健康をつくる子どもを育てる歯科保健教育の一方途」

～発達段階に応じた関心を高めていくためのカリキュラムづくりを通して～

大牟田市立駛馬小学校 主幹教諭 西峯 幸子



駛馬小学校は児童数273名の中規模校です。歯科健康診断の結果、乳歯・永久歯に未処置歯のある者の割合（％）では、全国平均より－3％であったが、歯肉炎（G）では＋10％、軽度歯肉炎（GO）では＋8％となった。

児童にアンケートを取ると、歯みがきの仕方が分からない、歯について知らないとの結果が出た。これらの事をふまえて歯科保健教育では、発達段階に応じた指導を行う為に、低学年では意欲・関心を、中学年では理解・知識を、高学年では自分で課題を判断する事を目標とした。

事後指導として低学年では、歯科医師会よりDHを派遣してもらい、正しい歯みがき（突っこみ磨き）の練習をする。中学年では、歯科医師より歯肉炎を学び、自分の歯肉の状態を確認し（斜め45度磨き）を練習する。高学年では、全国歯みがき大会のDVDで学び、自分の歯の生え方に応じた歯みがきを練習する。

それぞれ指導を受けた後、歯みがきカレンダーを作り、めあてを決めて、2週間実践できたかを確認した。

指導前後のアンケートで1日3回の歯みがきが習慣化し、各自の課題に応じた歯みがきが出来ている児童が増加したことが分かった。

成果としては、主体的に歯・歯ぐきの状態を改善する素地を身に付けることができ、関係機関と連携して指導を行ったことで、課題解決の意欲が高まり主体性が高まった。

課題としては、年度初めより関係機関との指導内容の相互理解が必要と締めくくられた。

基調講演

「知ってる？知らない？再確認！口からはじめる健康づくり」

～態癖、舌位置、食育について～

一般社団法人大牟田歯科医師会 学校歯科医
高村 聖一



態癖とは、外部から中・下顔面に悪影響を及ぼすような力を加える生活習慣のことで、頬杖やうつぶせ寝、口唇の巻き込み、顎で頭を支えての読書やゲーム、頬に手を当てて寝る癖などがあげられます。態癖があると、顎や噛み合わせがズレたり、姿勢が歪む事があるので注意が必要です。

次に正しい舌の位置についてですが、舌は上あごについていて、しっかり鼻呼吸することが大事です。口呼吸の人は舌筋の力が弱く、舌が下がっています。口輪筋や舌筋、咀嚼筋などを鍛えるあいうべ体操を続ける事で、舌の位置が上がり、鼻呼吸が身について、病気に対する自然治癒力がアップします。

最後に食育について、よい土を作ると野菜は元気に育つとのことで、生ごみをリサイクルした菌ちゃん（糸状菌）野菜作りを紹介し、食育とは食べ物を心から大切に感じる心を育てることと述べられました。歯科医師以外にもわかりやすく、クイズやユーモアを交えながら、講演が行われました。



特別講演

「未来を担う子どもたちのより良い口腔育成のために」

九州歯科大学 健康増進学講座口腔機能発達学分野
教授 牧 憲司



初めに現代小児の貧困の問題、小児虐待についてお話があった。子供の貧困率は、7人に1人が貧困で先進国20カ国のうち4番目に悪い（2015年）。貧困とむし歯の相関関係を表す東京都内23区の地域データからむし歯の罹患率を調査、貧困家庭ほどむし歯が多いという結果が出た。また、児童虐待は増加傾向にある。厳しい家庭環境にあると、むし歯のケアが行いにくい事がわかった。

次に小児期の外傷についてお話があった。小児期に顔面を受傷し易いのは「三間の減少（仲間との運動の機会、運動時間、遊びの空間の減少）」により様々な経験の機会が奪われ、回避動作が衰えた為と考えられている。また、高層建築で育つ子供が高所の危険を察知する能力が劣ってきているとも言われている。顎骨の骨構築は、食物の硬軟やカルシウム量で変化し、筋骨連関がみられる。食物は硬くカルシウムが多いと骨構築が強い。乳歯は歯槽骨も柔らかく空隙が多い為脱臼が多く、永久歯は破折が多い。乳歯の外傷は後継永久歯への影響が出やすい。歯ブラシ事故増加の為、転倒しない様歯ブラシ時の姿勢まで指導する。事故が起きにくい歯ブラシも開発されている。エナメル質形成障害は、形成不全症、減形成、低石灰化、MIHがある。犬歯の萌出障害による他歯の歯根吸収による脱落など内なる外傷は増えている。生える時期が来ても生えてこない歯は要注意。異所萌出埋伏歯は誘導してやる。

最後に小児期からの口腔育成と教授の研究内容についてお話があった。指しゃぶりはデメリットばかりでなく精神的な安定、筋肉の発達などメリットもある。叢生の発現についてはスペースに関するもの、咀嚼能力とメンタルストレスや握力との関係性など講演内容は多岐にわたり詳細に説明があった。

令和元年度第6回福岡県よい歯の学校表彰

令和元年11月16日(土)

「よい歯の学校表彰」選出につきましては、以下の2つの事項を念頭に決定しました。

- ①前年度の「歯・口の健康診断結果統計調査」に基づき、DMFT 0.5以下でカリエスフリー率が高い学校。
- ②学校規模（小規模校、中規模校、大規模校）を考慮。

選出につきましては、数値的に非常に近接した学校が多数あり難航いたしました。2つの事項を考慮して慎重に選出いたしました。

第6回福岡県よい歯の学校表彰

表彰校 学校歯科医表彰

宗 像	宗像市立河東西小学校	学校歯科医	川前 武朗
		学校歯科医	入江 祐彰
筑 紫	春日市立春日西小学校	学校歯科医	高野 紘宇
大 牟 田	大牟田市立玉川小学校	学校歯科医	原田 安信



◇参加者の声（アンケートからの抜粋）◇

学校教育関係 7 名、養護教諭・保健主事 15 名、学校栄養士・栄養士 3 名、学校歯科医（含園医）16 名、歯科医師（校医以外）2 名、歯科衛生士 12 名、その他 28 名の計 83 名より回答を頂きました。

☆学校教育関係

- 講演内容が専門的でした。学校で実践できそうなところを抜粋して活用していきたい。

☆養護教諭

- 各学校の実践発表が動画等を用いており、とてもわかりやすかった。本校でも活用したい実践が聞けて良かった。歯の教材も実際に見ることができ良かった。
- 歯と口からつくる健康について改めて大切さを実感した。学校に帰って実態に合わせながら取り組むことができたと思う。
- 今年の実践発表は実践が 1～2 年程度のもので、継続的な積み上げがみられなかったため、経年的な変化や子どもの変容が見られなかったです。

☆学校栄養士・栄養士

- 実践を参考に自校でも取り組んでみたい。
- 栄養士として学校に勤務しているので、歯科の分野でたくさんの方の事を学ぶことが出来た。

ありがとうございます。

☆学校歯科医（含園医）

- 特別講演の内容が、養護教諭には少し難しかったように感じた。専門用語も多かった。出来れば養護教諭レベルで対応できるかを教示してほしいとの声があった。参加対象者に合った講演を選ぶ事が大切だと思う。

☆歯科衛生士

- エナメル質形成不全や先天性欠損について保健指導の参考になる情報を得ることが出来た。
- 衛生士をしており、直接学校保健に関わっていないが、今回は久しぶりに拝見させてもらい、学校での歯科に関しての取組みに感心しました。態癖や食育に関しては個人的に関心があったので、自分自身の生活に役立てていきたい。

☆その他

- 私は学生であり、内容が少し理解しにくいところもあった。しかし、養護教諭を目指す上で、子供にどのようにアプローチしたらいいのか、私が果たさなくてはならない役割が見えてきたように感じた。

展示コーナーから



◎シャボン玉石けん「無添加石けん」

あおいおそらがほしいのね〜♪でお馴染みのシャボン玉石けん株式会社の本社と工場は北九州市若松区にある、と皆さんご存知でしたか。営業所も北九州と東京のみで、今年でなんと創業110周年だそうです。しかも筆者も知らなかったのですが、無添加石けん以外にも歯磨剤も販売しています。その歯磨剤、「シャボン玉せっけんハミガキ」は自然にあるものを使用し、発泡剤として合成界面活性剤の代わりに石鹼を使用しているため、歯を磨いた後に飲んだり食べたりしても、口腔内の味覚が変わらないといった特長を持っています。ほかにも天然塩が歯肉をひきしめて歯周病を予防する「シャボン玉薬用せっけんハミガキ」や、みかんの果皮から抽出した香料を用いた子供用新商品「シャボン玉こどもせっけんハミガキ」などのラインナップがあります。また、無添加の石けんにこだわりを持って作っている会社として、手荒れがしにくく、肌に優しい「手洗い石けんバブルガード」もお勧めしていました。



◎ライオン歯科衛生研究所「全国小学生歯みがき大会について」

毎年、6月の「歯と口の健康週間」にあわせて、公益財団法人ライオン歯科衛生研究所が行っている「全国小学生歯みがき大会」の広告やチラシなどを、皆さん、一度は目にした事があるのではないかと思います。その内容までは詳しくご存知ないのではないのでしょうか。対象は小学校5年生（4、6年生でも可）で、学校で約40分間のDVDを見ながら、歯ブラシやデンタルフロスの使い方などの実践を交えながら、歯周炎について学んでいきます。大会で使用する児童用ドリルや、歯ブラシ、デンタルフロスのセット、及び自分の夢・目標を記入し、その実現に向けて、毎日何をがんばるのかを記入する「未来宣言カード」はすべて無償で提供されます。今年で77回目を迎え、以前はインターネットで配信された事もあったのですが、遠隔地で不具合が発生したため、4年前からDVDを配布することになったそうです。ただし、申込期間が年明けから2月末までと年度末に当たり、担当教諭の転任の可能性や、上司の許可の必要性などから申し込みを躊躇する例もあるため、学校歯科医から学校側へ働きかけることが、参加への強い後押しになると思われます。参加人数は毎年右肩上がりに増えているのですが、昨年の大会での福岡県の参加率は14.4%で九州ではワースト1位でした。まだ参加されたことのない小学校の校医の先生はぜひ、学校側に参加を呼びかけてみてはいかがでしょうか。



令和元年度 全国学校保健・安全研究大会 第69回全国学校歯科医協議会

副会長 平 瀬 久 義

令和元年11月21日(木)・22日(金)、令和元年度全国学校保健・安全研究大会がさいたま市のソニックスティで開催され、杉原会長、三箇監事、柳迫専務理事と平瀬が参加した。

初日は、開会式において文部科学大臣表彰伝達式が行われ、柳迫専務理事が出席され受賞された。その後、記念講演が行われた。

翌日は10の課題に分けて研究協議会が開催され、学校歯科に関しては、第5課題「歯・口の健康づくり」で“生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方”という標題で研究協議が進められた。私は、第1課題「学校経営と保健組織活動の研究協議」を受講した。研究協議内容は「1. 健康教育を中核とした学校経営の進め方 2. 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について 3. 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取り組みについて協議する」であった。

また21日(木)は、第69回全国学校歯科医協議会が開催され、開会式、文部科学大臣表彰者紹介に引き続き、東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室教授の武田友孝先生による「マウスガードの有効性」についての講演と、元ラグビー日本代表の堀越正巳氏とお二人による「マウスガード普及について」のシンポジウムが行われた。



令和元年度 福岡県若年教員研修(養護教諭)報告

専務理事 柳 迫 正 俊

福岡県教育委員会では、教職経験1年目の養護教諭に対して研修を行い、職務に関する基礎的・基本的な資質と能力を形成することを目的に、毎年校外研修が開催されています。今年度は11月29日に県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡)で開催され、私が講師として出席しました。

研修では「学校歯科保健活動の実際」という演題で、学校歯科保健の重要性と学校歯科健康診断の意義と目的、そして健康診断結果の活用方法と学校保健委員会の活性化などを講義し、学校管理下における外傷時の対応等についても話をしました。その後、福岡県歯科衛生士会の伊豫雅子講師から、学校現場での歯みがき指導や、手作りグッズを使った指導法の実演があり、大いに盛り上がったところで研修は終了しました。

後日、受講者からは「他律的から自律的な健康づくりへ移行していく学童期に、歯の健康教育を充実させることが重要であると学んだ。」「健康診断が学校歯科保健の入口であるという言葉が印象的だった。健康診断を実施して終わりではなく、健診結果を正しく集計・分析して、実態に即した

指導につなげていくことが重要であると学んだ。」「学校歯科保健に関して、学校と学校歯科医、学校と家庭が連携し、組織的に進めていくことの必要性を改めて学んだ。」「歯や口のけが防止や、マウスピースの活用勧奨などに取り組んでいきたい。」等々の感想をいただき、養護教諭のみなさんの熱意がひしひしと伝わりました。

今年の受講者は28名で、このような活気あふれる熱心な先生方が学校現場で活躍してもらえれば、学校歯科保健活動はさらに活性化していくと思います。講義をする中で我々学校歯科医の職務と役割の重要性を実感した1日でした。



GO!! 学校へ行こう

広報委員会 委員 岩 永 典 人

私が初めて学校歯科健診にかかわったのは、平成2年、父が町内の中学校の学校歯科医だった頃でした。30歳頃で元気のいい盛りだったので、健診姿勢は悪く記録係のスタッフに大きな声で伝える健診にもかかわらず、大変とは思いませんでした。平成5年、父の引退と同時に母校の苅田中学校の学校歯科医に就任しました。最初の数年は、もう一人の学校歯科医と九州歯科大学に応援を依頼し1日で歯科健診を終わるようにしていました。健診場所は体育館で外光は少なく天井の照明も暗いため補助ライトで照らしていても、見にくい状況でした。その後、2人の学校医だけで診療所の昼休みを利用し、1学年ずつ3日間に分けて健診するようにしました。場所は保健室になり、体育館よりはるかに明るい環境となりました。

25年間の学校歯科医歴の中で、生徒の状況はずいぶん変わってきました。昔は1クラスに必ず1人2人やんちゃな生徒がいたものです。男子はズボンを腰まで下げ、ボンタンズボンに上着のボタンは紫色、女子はスカートの裾は長いという感じで、茶髪の子がいました。健診中は対面で覗き込むわけですが、椅子を後ろに引いて下がったり、読み上げている声に笑いが漏れたりで、“中学生だからもっ



苅田中学校

とちゃんとしなさい”と言いたくなることもしばしばでした。ちょうどクレイマーやモンスターペアレントなど権利意識も高くなった時代でした。10数年経過した頃、ふと気づくと生徒はとても礼儀正しく、制服・髪型はきちんとしていて、学校が静かになりました。私自身は還暦近くなり老眼になり体力も衰えてきている現状、LEDライト付き拡大鏡をかけて大きな声で読み上げるのは大変です。生徒が礼儀正しくなったおかげでスムーズに健診が進んでいます。以前の状況であれば、クスクス笑いが起きて“もう健診辞めたい”と投げ出していたかもしれません。衛生的な健診に努めなければいけません。グローブを着用し、ダブルミラーで健診を行えるほどのミ



保健室



保健室の中の様子

ラーの本数はいまのところありません。木製の舌圧子を使用し清潔に気を付けて健診を行っています。

口腔内の状況は、荏田町が取り組んでいる幼児の頃からの「母と子の啓発事業」の成果でしょうか、とても良い口腔内の生徒も多い反面、多数歯う蝕を放置している生徒もいて格差があるのも事実です。虐待、ネグレクトがニュースをにぎわせています。先入観を持って健診に臨むのは良くないのですが、低学年小学校児童においては家庭での状況を気づいてあげるのも学校歯科医の役目でもあると感じます。

追記

今回投稿に際し、京都歯科医師会の協力を得て、学校歯科健診についてアンケート調査

をし、養護教諭にも少しお話を聞いてみました。やはり学校とのかかわりは健診が主で、校内での外傷に際してもかかりつけ医にまず相談ということです。健診ソフト導入に関しては賛成反対半々でした。養護教諭からはCO・GOが先生によってまちまちだという意見が上がってきました。



健診器具

歯鏡

傑作にならなくても

背景によって、絵のモチーフは様々に変化してみえる。

診療室が背景の僕は、通り一遍の静物ではないのだろうか？

Man to Man の関係から飛び出して、学校に行けば沢山の子供たちの、今を知り、これまでを考え、そして僕はこれからのそれぞれと、沢山のこれからに取り組む。

これからのための最善を、カードルにぶつかりながら、もはや静止画では居ら

れないけど、カードルからは飛び出せない。

静止画が動いて見えれば傑作になるけど、たいせつを、子供たちに伝えるためには安全安心以外の、形振りなんか構ってられない。

2019.10.27 コル歯科診療室にて

*カードル=額縁cadre

常務理事 松田 宏一

いずみ保育園での歯みがき指導

〈京都〉白 川 安 彦

京都歯科医師会学校保健委員会は、毎年校医・園医の依頼を基に「歯と口の健康」についての話と歯みがき指導を行っています。

本年度は10月18日行橋市内のいずみ保育園の年長さんを対象に、歯科衛生士が歯みがきの必要性和歯のみがき方を説明しました。その後、染め出し液を塗布し1対1で歯みがき指導を行いました。なかなかうまく磨くこと

は難しそうでしたが、歯みがきに興味を持ってもらえるように楽しく磨けるように、又第一大臼歯の萌出時期にあたる為、丁寧な指導を心がけています。

今まではむし歯の予防を主に考えていましたが、今後は小学生・中学生の歯肉炎や歯並びについても指導出来ればと思っています。写真は当日の様子です。



元気を育てるお口の授業

〈豊前築上〉平 良 祥

豊前築上歯科医師会では、学校歯科保健活動として小学校歯科巡回指導と歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語の審査を行っている。

小学校巡回指導は毎年「いいな、いい歯。週間」に合わせて「元気を育てるお口の授業」と題して秋に行っており、昨年度は築城町の下城井小学校でおこなった。小学校巡回指導で毎年問題になるのは染め出しに対する学校の温度差で、学校側としては服が汚れたり間違えて飲み込んだりするリスクを考慮して消極的になる場合もあるようだ。下城井小学校においても、打ち合わせの段階で難色を示したために、低学年の第一大臼歯のみ染め出しをすることとなった。ところが授業当日にいざ1年生の第一大臼歯を染め出してみると、子供たちは友達同士で笑いながら一生懸命に磨いたり、担任の先生に「きれいになったよー」と見せて回ったりと非常に啓発効果が高く学校側の認識も変わったのではないだろうか。今年度は豊前市の横武小学校で行うが、この学校は染め出しに協力的であり、がっちりと染める予定である。

つぎに歯・口の健康に関する図画・ポスターと標語の審査のはなしであるが、毎年6月

～7月ごろに行っている。

絵心のない我々が審査などは到底できるわけもなく、今年度も豊前市の絵画協会の理事の先生にお願いすることにした。先生がおっしゃるには、審査のポイントの大前提は空白なく色を塗れていること、つぎに楽しく描けていること。この楽しく描けているというのがガイドラインがなく、経験とセンスに基づく主観的要素が強く、われわれには到底無理なわけである。

しかし、先生が選んだ絵は確かに見ていて楽しくなってくる。なんとなく目を引くし、書き手の考えも何となく伝わってくる。不思議なものである。

それに比べると、標語に関しては【プレ○ト！！】の夏井い○き先生を視聴し、我々も見識を深めることが出来ていたこともあり、自分たちで審査することができた。

このあと、優秀作品は地元銀行のギャラリーに展示されることとなる。子供たちは、ポスターや標語の製作によって歯や歯みがきへの関心が高まると思われ、この事業は続いてほしいと願うし、我々も見識をさらに深めなくてはいけないと考えさせられた。



専門家を招いて、丁寧に時間をかけて審査します。



審査後は紛失がないように、ダブルチェックならぬトリプルチェックをします。これが非常に大変。

直方歯科医師会における公衆衛生・学校歯科委員会の活動報告

〈直方〉久 原 佐知子

本会では、地域住民の健康増進及び公衆衛生の向上を目的に各種取り組みを実施しております。①歯と口の健康週間（無料フッ化物塗布・歯の健康相談）②よい歯の学童表彰③高齢者のよい歯表彰④「いいな、いい歯。」週間⑤養護教諭講習会⑥公衆衛生・学校歯科講演会とあり、特に、毎年6月に開催する「歯と口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」は、本会において50年以上の歴史があり、当委員会の目玉行事です。

昨年度から直方歯科医師会会長賞の作品を本会ポスターに採用しておりますが、今年度は、直方特別支援学校小学部男児の作品を掲載しました。「新幹線のお医者さん」といわれるドクターイエローを歯ブラシに見立て元気に歯磨きしています。「はみがきれっしゅっぱ一つ」と、鉄道好きの男児らしい発想力の豊かさと遊び心にあふれた作品は審査会でもひと際目を引きました。この作品は、福岡県学校歯科保健研究大会においても教育委員会賞を受賞しました。

少子化や図工の授業数削減により、コンクールへの応募数は減少傾向にあります。作品を本会ポスターに掲載することで、多くの地域住民に披露することが出来、口腔衛生へ高い関心を持つきっかけになると考えています。これは教育委員会をはじめ、各方面からも好評を得ており、今後も継続予定です。

今年の表彰式は、子供たちの笑顔を思い浮かべながら賞状や胸章を手作りし、趣向を凝



らして、温かみのある会場装飾を心掛けました。記念品は日本歯科医師会PRキャラクター「よ坊さん」の啓発グッズを取り寄せ、本会ネーム入り歯ブラシ他とともに可愛くラッピングし、式典が子供たちやご家族の記念日になるよう努めております。

会場内は、3歳から15歳の受賞者28名とそのご家族や学校関係者で満席となり盛況でした。賞状記念品授与の際には、ステージ上のスクリーンで作品も同時披露し、多くの拍手を受け、注目を浴びる我が子を嬉しそうにカメラに収める保護者や、早々に記念品を開封して喜ぶあどけない子供たち、展示作品と記念写真を撮る家族連れの微笑ましい姿を目にしながら、主催者としての苦勞も報われ安堵しました。

子供たちが、このコンクールを通して歯と口の健康の大切さを学び、それが学校歯科保健への更なる理解と認識へ繋がるように、委員会一同、今後とも力を合わせて邁進いたします。

令和元年度
歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞者

会長賞



幼稚園
門司 幸幼稚園 5歳
せぐち こはる



小学校低学年
筑紫 春日小学校2年
新森 美岬



小学校高学年
久留米 南薫小学校6年
藤井 眞子



中学生
飯塚 飯塚第一中学校3年
香月 萌乃果



高校生
八女筑後 輝翔館中等教育学校4年
岩津 歩佳



特別支援学校
直方 直方特別支援学校小学部3年
城戸 優輝

教育委員会賞



中学生

宗 像 中央中学校3年
松岡 舞



特別支援学校

豊前築上 築城特別支援学校小学部6年
永田 翔



小学校低学年

宗 像 河東西小学校3年
吉永 翔伍



小学校高学年

京 都 上高屋小学校4年
仲藤 剛志

優秀賞



中学生

筑 紫 春日南中学校3年

寺尾 彩音



特別支援学校

小郡三井 小郡特別支援学校6年

櫻木 勇宇希



小学校低学年

朝 倉 蜷城小学校1年
はやした わたる



小学校高学年

大川三瀨 三瀨小学校6年
徳永 朋穂

優良賞



大川三瀬 田口小学校1年
山口 紗季



柳川山門 両開小学校5年
山田 幸史



朝 倉 甘木中学校3年
小西 優里奈



久留米 久留米聴覚特別支援学校小学部6年
久富 麻結

佳作



飯 塚 桂川小学校1年
さとう あつむ



大牟田 三池小学校2年
中西 美月



久留米 小森野小学校3年
熊添 逢



直 方 直方北小学校4年
有馬 ゆか



朝 倉 蟬城小学校5年
荻野 日向



小郡三井 三国小学校6年
河室 芽依



大牟田 橘中学校2年
吉田 あおい



豊前築上 上毛中学校2年
藤野 光



久留米 荒木中学校3年
西村 奏

標 語

優良賞

わたしの歯
ずーっと一緒に生きていく！

直方 古月小学校5年 石松 愛希

優秀賞

キラキラと
輝く君の 歯と笑顔

朝倉 三輪中学校3年 矢野 裕大

教育委員会賞

歯に感謝
食事がいつも 楽しいよ

筑紫 大野東中学校1年 北島 遙人

会長賞

未来へと
続く健康 歯のおかげ

八幡 大蔵中学校1年

境 真子

令和元年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール講評

福岡県教育センター 産業・情報教育部 情報教育班 主任指導主事 合田 賢治先生

【総 評】

絵を描くこと自体を楽しみながら歯や口の健康づくりの大切さを訴えた作品が多く見られました。また、昨年度に比べて全体的にコントラストがはっきりした絵が増え、「伝えよう」という思いの強さが伝わってきました。絵に勢いも感じられました。

○幼稚園の部

隅々まで歯をよく磨くことでむし歯をどんどん無くしていくというストーリーがあるので。画面のほとんどを大きく開けた口が占めるような迫力ある表情がダイナミックに描かれていました。今年も出品が少なかったのが残念です。

○小学校低学年の部

歯を磨いている顔を中心に大きく据えて描いているうちに、新たに思い付いたことを回りに配置して画面を構成していったり、背景の表し方を工夫したりしている低学年らしい作品が多くありました。「この絵はどんな様子を描いたの?」と尋ねれば、絵を指し示しながら、歯磨きの様子などについてきつとくさんのことを話してくれることと思います。

○小学校高学年の部

高学年になると、これまでの経験や見たことが増えてくるため、表し方についてはバリエーションに富んでいました。以前多く見られた口だけをパーツとして大きく描く構図は少なくなりましたが、むし歯予防をテーマにした作品がほとんどでした。よく噛むことの大切さなど食を通して歯・口の健康づくりに関するテーマにも挑戦してほしいところ。また、色の使い方については、世の中の様々なポスターを参考にして、色の鮮やかさを意識して描くと更によい作品が増えてくると思います。挿入する言葉（キャッチフレーズ）についてももう一工夫ほしいところ。

○中学生の部

さすが中学生!と言いたくなるような作品ばかりでした。主題を生み出す際に、社会に向けてどのような発信をするかインパクトがあるのか、いかに自分らしい表現方法で表すことができるかを考えながら、歯・口の健康を呼びかけるアイデアを具体化していった様子が伺えます。特に口の中から見えた構図や架空の空間を見下ろした構図など、「どこから、何を見ているのか」といった視点を工夫した面白い作品がいくつもありました。そのような作品は立ち止まってじ

っくり見たり、ポスターとしての発信効果も大変優れています。描きながら時々離れて見ることによって、文字の読みやすさ（形・色）や配置、大きさのバランスなど改善した方がよいところが分かり、さらに素晴らしい作品になると思います。

○特別支援学校の部

絵を描くときの手の動かし方や使っている画材、モチーフなど、みんなそれぞれ違いますが、どの絵からも大きな画用紙に向かって体全体を使ってのびのびと表現しようとしている姿が思い浮かびます。作品に添えられている「まいにち」「びかびか」「ゆっくりと」「だいじなは」「笑顔で」などの言葉から、子供たちが担任の先生方と一緒に歯の大切さを語り合いながら、自分に合った表現方法で作品作りに打ち込んでいったのが分かります。

○高等学校の部

今年も出品が少なく残念でしたが、出品された作品は、細部まで意識が行き届いた非常に美しい作品でした。人間にとって食が欠かせないのと同じように、現在の歯磨きを含めた正しい生活習慣が、将来の健康で豊かな生活を作り上げていくことには欠かせないということがパズルのピースに例えて表現されていました。思い付いたアイデアを画面の中に見事に構成した「さすが高校生!」という作品で、他の作品ももっと見たくくなりました。

【作品審査を終えて】

昨年度に増して今年は多くの作品に見られた「笑顔」が印象的でした。日常的に楽しみながら歯磨きをしようということだけでなく、将来の健康で明るい社会をイメージしているからであり、「歯・口の健康づくりを通じて生涯にわたり健康で安全に生活するための習慣や態度の育成に寄与する」というポスターに込められるべき要件がきちんと理解されているからでしょう。構図については「歯・口の健康に関する図画・ポスター」の長年の取組によって、近年、多少見慣れた感が出てきていましたが、中学生、高校生のポスターに見られた視点の面白さに着目したアイデアのよさには目を見張るものがありました。また、どの学年にも言えることですが、文字の見やすさを意識して描くと更に素晴らしい作品になるのではないかと思います。

最後に、子供たちが一生懸命に考え、イメージを膨らませながら描いた多くの作品を見てみると、何とも言えないエネルギーをもらえます。このような機会をいただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

令和元年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」審査結果

図画・ポスターコンクール 幼稚園

会長賞	門司	幸幼稚園	5歳	せぐち	こはる
入賞	直方	浄福寺幼稚園	5歳	きくち	れんと
	飯塚	碓井ひかり幼稚園	5歳	さとう	りく
	朝倉	甘木幼稚園	5歳	吉田	幸太

図画・ポスターコンクール 小学校低学年

会長賞	筑紫	春日小学校	2年	新森	美岬
教育委員会賞	宗像	河東西小学校	3年	吉永	翔伍
優秀賞	朝倉	蜷城小学校	1年	はやしだ	わたる
優良賞	大川三瀧	田口小学校	1年	山口	紗季
佳作	飯塚	桂川小学校	1年	さとう	あつむ
佳作	久留米	小森野小学校	3年	熊添	逢
佳作	大牟田	三池小学校	2年	中西	美月
入賞	京都	馬場小学校	2年	難波	美蕾姫
	豊前築上	上城井小学校	2年	古畑	波々
	田川	伊方小学校	3年	仲島	成那
	直方	直方西小学校	1年	やまだ	みお
	粕屋	大川小学校	3年	丸山	夏樹
	小郡三井	大堰小学校	3年	富松	航平
	浮羽	千年小学校	1年	いえなが	こどう
	八女筑後	松原小学校	1年	飯盛	ななみ
	柳川山門	藤吉小学校	3年	富崎	和奏
	門司	門司中央小学校	1年	岩本	彩芽
	小倉	足立小学校	1年	上田	小春
	若松	古前小学校	2年	森山	まひる

図画・ポスターコンクール 小学校高学年

会長賞	久留米	南薫小学校	6年	藤井	眞子
教育委員会賞	京都	上高屋小学校	4年	仲藤	剛志
優秀賞	大川三瀧	三瀧小学校	6年	徳永	朋穂
優良賞	柳川山門	両開小学校	5年	山田	幸史
佳作	直方	直方北小学校	4年	有馬	ゆか
佳作	朝倉	蜷城小学校	5年	荻野	日向
佳作	小郡三井	三国小学校	6年	河室	芽依
入賞	豊前築上	上城井小学校	5年	丸山	裕翔
	田川	伊方小学校	6年	安方	小春
	宗像	神興東小学校	6年	弓削	奈津芽
	粕屋	仲原小学校	6年	綿田	佳琳
	筑紫	二日市小学校	4年	中島	瑠菜
	浮羽	山春小学校	5年	金丸	菖吾
	八女筑後	中広川小学校	6年	中村	愛紗
	大牟田	天領小学校	4年	安陪	舞子
	門司	門司中央小学校	5年	岩本	結奈
	小倉	守恒小学校	6年	古莊	和
	戸畑	天籟寺小学校	5年	高松	海心
	若松	青葉小学校	6年	柳川	寛太
	八幡	永犬丸小学校	6年	林田	海来

図画・ポスターコンクール 中学生

会長賞	飯塚	飯塚第一中学校	3年	香月	萌乃果
教育委員会賞	宗像	中央中学校	3年	松岡	舞
優秀賞	筑紫	春日南中学校	3年	寺尾	彩音

優良賞	朝倉	甘木中学校	3年	小西	優里奈
佳作	豊前築上	上毛中学校	2年	藤野	光
佳作	久留米	荒木中学校	3年	西村	奏
佳作	大牟田	橘中学校	2年	吉田	あおい
入賞	京都	今元中学校	2年	有馬	すず
	田川	鷹峰中学校	3年	吉田	悠希
	直方	直方第二中学校	3年	渡辺	さくら
	粕屋	粕屋中学校	2年	長澤	佳凜
	八女筑後	輝翔館中等教育学校	3年	三上	遥
	門司	緑丘中学校	2年	上山	海音
	小倉	東谷中学校	1年	小池	優希
	八幡	大蔵中学校	1年	福澤	祐

図画・ポスターコンクール 高等学校

会長賞	八女筑後	輝翔館中等教育学校	4年	岩津	歩佳
-----	------	-----------	----	----	----

図画・ポスターコンクール 特別支援学校

会長賞	直方	直方特別支援学校小学部	3年	城戸	優輝
教育委員会賞	豊前築上	築城特別支援学校小学部	6年	永田	翔
優秀賞	小郡三井	小郡特別支援学校	6年	櫻木	勇宇希
優良賞	久留米	久留米聴覚特別支援学校小学部	6年	久富	麻結

標語

会長賞	八幡	大蔵中学校	1年	境	真子
教育委員会賞	筑紫	大野東中学校	1年	北島	遙人
優秀賞	朝倉	三輪中学校	3年	矢野	裕大
優良賞	直方	古月小学校	5年	石松	愛希
入賞	京都	中京中学校	2年	藤原	大翔
	豊前築上	友枝小学校	6年	高野	優莉
	田川	真木小学校	3年	佐藤	夏菜
	飯塚	立岩小学校	6年	松本	莉来
	八女筑後	三河小学校	6年	樋口	七虹
	門司	小森江西小学校	5年	川上	美咲
	小倉	横代小学校	5年	池本	璃音
	若松	青葉小学校	6年	丹生	賢志郎
	遠賀中間	岡垣中学校	3年	野村	結奈



宗像地区学校歯科保健事業協議会

〈宗像〉入 江 祐 彰

令和1年9月7日土曜日、午後5時より、令和1年度宗像地区学校歯科保健事業協議会が開かれました。これは、宗像地区（福津市・宗像市）の学校歯科保健にまつわる問題点や改善点を、学校歯科医と教育関係者が共に顔を合わせて、直接、意見交換を行うといった目的で毎年9月の第一土曜日に開催されています。過去にはこの協議会で依頼して、学校歯科健診器具の滅菌・消毒方法や学校保健委員会の開催状況などを教育委員会を通して、学校側にアンケート調査をしてもらった事もあります。今年の開催場所は、人気の道の駅むなかた近くにある「御宿はなわらび」。出席者は福津・宗像両市の教育長、宗像地区小・中学校長会会長、宗像歯科医師会からは会長、学校歯科委員会理事を含め7名、そして今年ははじめてオブザーバーとして福津市長が参加し、計12名で行われました。福津市長は、これに先だって7月に行われた第4回西日本子ども歯科保健・健康会議にも出席するほど、学校歯科保健にも熱心な様子でした。まずは報告事項として、宗像歯科医師会から第4回西日本子ども歯科保健・健康会議の報告や第24回福岡県学校歯科保健研究大会への参加の呼びかけ、平成30年度の福津市・宗像市における歯・口の健康診断結果統計調査の



会場となったはなわらび

報告や、学童期むし歯予防推進事業におけるフッ化物洗口についての説明がなされました。続く協議題として、今後も増加が見込まれる宗像地区巡回ブラッシング指導にかかる経費とその対策、学校歯科健診の日程確保の困難さや、福津・宗像両市での児童数あたりの校医数が異なる点などについて、協議がなされました。今年は1時間以上にわたり、例年以上に熱の入った協議が繰り広げられたように思います。会議終了後は、離れの和室に移動し、懇親会の席が設けられました。玄界灘で採れた美味しい海の幸に舌鼓を打ち、普段はなかなか聞けないような学校や教員の話も聞くことが出来、大いに盛り上がりました。



ブラッシング指導の様子



指導を受ける子供たち

歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール表彰式

〈筑紫〉岡村博久

こんにちは、筑紫学校歯科医会です。筑紫学校歯科医会では、「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール」と題して、図画・ポスターと標語を筑紫地区（春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市、那珂川市）の小・中学校と特別支援学校から募集しています。令和元年度、図画・ポスターの部は、小学校1,417点、中学校247点、特別支援学校37点、合計1,701点。標語は小学校714点、中学校311点、合計1,025点ご応募いただきました。



会場エントランスホールに展示された作品

図画・ポスターの部は、5月26日（日）筑紫歯科医師会館大ホールにおいて、筑紫地区の中学校美術教諭の先生と、筑紫学校歯科医会会長以下理事10名で、歯科医師の意見も交えながら、また、標語は筑紫地区中学校国語研究会の先生方をお願いして、厳正なる審査を行いました。

優秀作品は、「歯を磨く」、「歯を大切にすること」を生活の中で、より身近なものとして考えさせられる工夫がなされ、8020運動をうたった作品も見られ、一生懸命描かれた作品ばかりでした。この作品を見ていただいた来館者の方々が、歯を大切にしてください、8020はおろか、8025、8030を目指していただきたいと思います。



受賞者の児童のみなさん(小学生の部・中央は岡村会長)

やみません。

令和元年6月9日（日）、第42回歯を守る集い「食と健口づくりフェスタ2019」が「筑紫野市カミーマリア」において開催されました。小・中学校各学年の最優秀賞、優秀賞の児童生徒さんたちをお招きし、表彰式を行いました。

中でも、福岡県学校歯科医会へ上程する最優秀賞の作品には、筑紫野市長賞、筑紫野市教育委員会教育長賞、福岡県学校歯科医会会長賞、筑紫歯科医師会会長賞が授与されました。市長は公務のため残念ながらご欠席でしたが、教育長、杉原福岡県学校歯科医会会長、魚住筑紫歯科医師会会長にもご出席いただき、直接授与していただきました。

筑紫地区養護教諭研究会のご来賓の方々、ご家族や学校関係者の方々にも多数参加いただき、元気なチビっ子たちが会場を駆け回り、アットホームな表彰式でした。

また、入選された作品は、会場エントランスホールに展示され、作品の前では入賞した子供たちが、記念写真やビデオ撮影で楽しそうににぎわっていました。

来年度は那珂川市での開催予定です。



福岡県学校歯科医会会長賞授賞式(杉原会長と受賞者の児童)



受賞者の生徒のみなさん(中学生の部・中央は岡村会長)

朝倉歯科医師会の取り組み

〈朝倉〉古 賀 祥 朗

5月25日(土)に西日本シティ銀行甘木支店において、「歯・口の健康に関する図画・ポスター」、「歯・口の健康啓発標語」の審査会を行った。審査会では、例年通り朝倉歯科医師会の学校歯科委員会と朝倉市立南陵中学校の美術教諭である徳永武洋先生とで審査を行った。



「歯・口の健康に関する図画・ポスター」、
「歯・口の健康啓発標語」の審査会

今回の参加は、幼稚園児が2園から21名、小学生が14校から2,484名、中学生が7校から866名で、合計2,543人である。参加総数は年によってばらつきはあるものの、近年は少子化の影響もあってか多少ながら減少傾向であることに一抹の危機感を抱いている。ただ、昨年度から多くの中学校が体育祭を春に開催することになり、昨年の応募作品が一時少なかったものの、再び例年並みの応募があり胸をなでおろしたところだ。一方、未だに高校からの応募がないのは残念である。

地域の方々に歯科医療をもっと身近に感じていただき、「歯と口の健康週間・『おいしい』と『元気』を支える丈夫な歯」をアピールする目的で当会が毎年行っているイベント『歯ミング21 in あさくら』（6月9日、フレアス甘木にて開催）において、「歯・口の健康に関する図画・ポスター」、「歯・口の健康啓発標語」の優秀作品展示とその受賞者を称える表彰式も例年通りに行った。私たちにとっては例年通りの事であっても、受賞する子供たちには一生の思い出になるかもしれず、少しでも自分に誇りを持ってもらえたら本望であ

る。その他展示会場にはフッ化物洗口体験も催され、こちらは若手先生の活躍により年々体験希望者が増加傾向であるようで、わずかでもフッ化物洗口の普及に役立てば幸いである。

話は昨年夏に遡るが、たまたま当会会員が園医を務める幼稚園や保育園の園医交代の話が同時多発的に持ち上がった。当会では幼稚園等と会員との契約上の話はあくまでも個人的なものであり、直接的な交渉は行わないというスタンスであるが、園・会員にとって不慣れなことでもあり、これまでも機会があれば契約に関する助言などを双方におこなってきた。昨夏は、件の幼稚園園長などに歯科医師会館に来館していただき、会長と担当理事で報酬額や設備などを含む契約に関するお願いと言う名の交渉を行った。地域差やこれまでの関わり方による違いなどで、現在、各園での会員の待遇には格差が生じていると思われ、今後もこの差を是正することが重要だと考えている。

さて、シビアな話は終わりにして、最後に当会でのおめでたい話題を。

今年度の日本学校歯科医会会長表彰を、島添武雄先生と篠崎利治先生が受けられることになった。おめでとうございます。そして、日本学校歯科医会会長表彰と言え、昨年度は中尾利夫先生が同表彰を受けられたが、先日、当会に多大な功績を遺されつつ急逝されてしまった。哀悼の意を表しつつ、この稿を終わりたいと思う。



『歯ミング21 in あさくら』での表彰式と作品展示の模様

令和元年度 図画・ポスター・標語の表彰式

〈八女筑後〉坂 田 人 志

11月9日(土)午後3時から八女筑後歯科医師会館で令和元年度歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語のコンクールの表彰式が行われました。

八女筑後歯科医師会 下川聖人会長が登壇され「人生100年時代を迎え健康寿命の延伸に向けて少しでも長く歯を残したほうがよいと考えています。歯を抜いてしまうと健康寿命に影響を与えるだけでなくおいしくご飯を食べることができなくなります。また子供たちは一生懸命にポスターを描いてもらい、こんな田舎町からも日本で最優秀に選ばれるような作品を輩出できたのは大変光栄なことです。文化的な面でも地域がより発展していけるよう少しでも貢献することができればよいのではないかと考えています」と挨拶された。続いて80才で20本以上の健全歯をお持ちの方5名の表彰式が行われ、それぞれ会長より賞状授与が行われた。なかには90才を越す高齢の受賞者もおられ会長は台から降りて高齢の受賞者が階段を上がりず済むように表彰状を手渡すなどの細やかな気遣いをみせておられた。

図画・ポスター表彰では最初に福岡県学校歯科医会専務理事 柳迫正俊先生が登壇され、本年度から入賞作品の選定には前もって地域の美術の専門の先生に参加して選んでもらっており、作品を選定した経緯や美術の先生からは「とても素晴らしい作品が集まってきており、歯と口の健康の大切さを伝えたいという情熱とアイディアがともに卓越している」という寸評をいただいたと話された。

続いて子供たちの表彰式では八女筑後学校歯科医会 山崎明宏会長が登壇され、地区から集まっ

た多数の作品の中から選ばれた20作品を描いた子供たちにそれぞれ表彰状を授与したが中でも県学歯会長賞(輝翔館中等4年岩津歩佳さん)は平成29年度に続いて2度目の受賞で本年度は日学歯で最優秀賞を受賞している。入賞3名は(三河小6年 樋口七虹さん、輝翔館中等部3年 三上遙さん、広川小6年 中村愛沙さん、松原小1年 飯盛ななみさん)が選ばれ、それぞれの作品を小さな盾におさめた記念品と表彰状を授与された。歯と口の健康啓発標語コンクールでは(三河小6年 樋口七虹さん)が選ばれた。

山崎会長の挨拶では、「毎年熱心に絵を描いてもらい大変感謝しています。私たちもこれまで真剣に絵を選んでいましたが美術の先生にお願いするなど選出方法も年々進化しています」また子供たちにむけてはポスターを提示しながら「会長賞に選ばれた皆さんの絵はポスターとなって恐らく福岡県中の歯科医院に飾られることになると思います。私は来年もここに立って皆さんの作品を待っていますのでぜひ何度も繰り返し挑戦してください」と力強く応援のメッセージを送っておられた。

最後に8020受賞者と下川会長の記念撮影が行われ、引き続き入賞者の子供たち全員と山崎会長、下川会長の記念撮影が行われ盛会のうちに表彰式は無事終了した。参加者は総勢54名程で父兄の皆様は立ち上がって熱心に子供たちの集合写真を撮っておられた。

日学歯最優秀賞の作品を描いた児童に「写真のようにきれいな作品だね」と声をかけると嬉しそうにはにかんでいたのが印象的だった。



下川会長と8020表彰者



下川会長・山崎学校歯科医会会長と表彰者の子供たち

歯の健康フェア

〈柳川山門〉 桜 島 俊 作

令和元年6月8日(土)午後2時から柳川山門歯科医師会館歯科保健センターにて「歯みがきはじょうぶなからだの第一歩」「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」「生涯を通じた8020運動の新たな展開」をテーマに「歯の健康フェア」を開催した。

晴天の中「歯の健康フェア」は、親子づれから御高齢の方々まで幅広く来場していただき大盛況であった。当日の事業内容は「歯科健診」「8020歯科健診・歯科相談」、久留米大学医学部歯科口腔医療センターの協力による「がん検診」、歯科衛生士による「ブラッシング指導」「口腔衛生指導」「フッ化物イオン導入器を用いたフッ化物イオン導入」福岡県衛生士会に協力をいただき、低年齢児に対してのフッ化ジェルを用いたフッ化物塗布を行いました。また協賛の福岡県南筑後保健福祉環境事務所からは「脂肪体重測定」「血管年齢測定」「健康度チェック」等を行った。

「歯の健康フェア」に先だって、よい歯の児童・生徒、歯と口の健康フェア、図画・ポスターコンクールの審査を行った。柳川市、みやま市の児童・生徒より4,233点の作品応募



をいただき、その中から48点の入選作品を決定して「柳川市あめんぼセンター」「みやま市立図書館」に歯と口の健康週間の期間中に展示した。その他の優秀作品は柳川山門歯科保健センターに展示した。

歯の衛生週間行事（現在は歯と口の健康週間）にあわせて昭和57年に柳川市の商業店舗の一角をおかりして始まった「歯の健康フェア」も38年あまりの継続事業となっている。昭和から平成そして令和の新しい時代の幕開けの時、この地域の未来を担っていく子供たちのために、今後も「歯の健康フェア」を通じて地域の方々の啓発活動事業を続けていきたいものである。



大牟田歯科医師会学校保健委員会の活動報告

〈大牟田〉和 田 浩 利

まず、大牟田歯科医師会にて行われた、第65回歯の祭典ポスター審査について報告します。令和元年5月18日(土)に大牟田歯科医師会館3F大ホールにて、ポスター最終審査が行われました。今年の応募作品数は、5,784点で、ほぼ昨年と同じくらいの応募がありました。審査を担当されたのは、塚野有一先生と高木誠秀先生の2名でした。両先生ともに力強い作風を好まれるようで、上位に選ばれた作品は大きな口と輝く歯がまぶたに焼き付くような素晴らしい作品でした。また、構図の見事さにも感心させられました。

次に、大牟田歯科医師会の学校保健委員会における活動内容について、報告したいと思います。以前より、希望のあった小学校においては、3年生の生徒を対象として、歯垢染色液を用いての刷掃指導を実施してきました。数年前までは、3校程度であった実施校ですが、今年度においては10校近くの小学校で、

歯垢染色液を用いた刷掃指導を行うことができました。

生涯における健康維持を実現するためには、10歳前後で口腔衛生の重要性を、明確に認識させることが効果的と思われます。そのために、従来から実施している歯科衛生士会とのミーティングを通して、共通理解を深め、今後の刷掃指導の質的向上と実施希望校の増加を図りたいと考えています。

また、広報活動の一つとして、ニュースレターの発行を行ってきましたが、今後は生徒さんたちに対し、口腔清掃の大事さを感じ取ってもらうための媒体となるようなニュースレターを作成できればと考えています。また、歯科医師会会員や教職員の方々むけに、近年、看過できない問題となった、格差社会のもたらす口腔内環境に対する影響などについて解説するようなニュースレターを作成することができないかについても検討中です。



歯の祭典ポスター審査



歯の祭典表彰式

小倉歯科医師会 学校歯科保健委員会

〈小倉〉上 田 雄 造

平成6年に小倉学校歯科医会と小倉歯科医師会が統合し、小倉歯科医師会7つめの委員会として小倉歯科医師会学校歯科保健委員会が誕生しました。

小倉歯科医師会学校歯科保健委員会の活動状況は、昨年発行されました福岡県学校歯科医会90周年誌に詳しく記載されています。

なお、令和元年度よい歯の学童と図画・ポスター・標語の優秀者ならびに高齢者よい歯の表彰を11月10日に、小倉歯科医師会館にて行いました。

今迄に小倉歯科医師会学校歯科保健委員会に関係した委員は以下の通りです。

○小倉学校歯科医会と小倉歯科医師会との統合問

題に関する検討特別委員会

委員長 小住 哲也 委員 徳永 憲一
副委員長 浮須 東洋男 坂本 匡
委員 上村 一雄 有田 登志雄
上田 茂治 作間 利正
浅尾 博己

○小倉歯科医師会学校歯科保健委員会

第23期 平成6年～平成8年

(平成5年～平成6年小倉学校歯科医会)

理事 上村 一雄 委員 植波 寛也
委員長 長谷川 喬 坂本 匡
委員 浮須 東洋男 木村 和義
野口 潔 佐伯 和道
荻野 茂 松山 千香子
渡辺 晃 豊島 雅子

第24期 平成8年～平成11年

理事 久保 哲郎 委員 豊島 雅子
委員長 巨山 京子 谷口 康子
委員 坂本 匡 榎本 千明
原田 和昭 小山 昇光

第25期 平成11年～平成14年

理事 安藤 紳 委員 松本 克彦
委員長 渡辺 晃 巨山 京子
委員 白濱 立二

第26期 平成14年～平成17年

理事 浦田 保信 委員 白濱 立二
委員長 渡辺 晃 松本 克彦
委員 三浦 彰

第27期 平成17年～平成20年

理事 浦田 保信 委員 白濱 立二
委員長 渡辺 晃 松本 克彦
委員 三浦 彰

第28期 平成20年～平成23年

理事 板家 隆 委員 倉富 覚
委員長 三浦 彰 小谷 武司
委員 矢野 健三郎

第29・30期 平成23年～平成25年

理事 板家 隆 委員 守永 知弘
委員長 倉富 覚 吉永 圭
委員 小谷 武司

第31期 平成25年～平成27年

理事 板家 隆 委員 吉永 圭
委員長 倉富 覚 瀬戸 泰介
委員 守永 知弘

第32期 平成27年～平成29年

理事 上田 雄造 委員 森 裕之
委員長 守永 知弘 山地 将太
委員 瀬戸 泰介

第33期 平成29年～平成31年

理事 上田 雄造 委員 山地 将太
委員長 守永 知弘 河原 道晴
委員 森 裕之

第34期 令和元年～

理事 上田 雄造 委員 河原 道晴
委員長 守永 知弘 司城 義光
委員 森 裕之

戸畑歯科医師会における学校歯科保健活動について

〈戸畑〉柴 田 和 成

戸畑歯科医師会において、学校歯科保健関係は学術・学校委員会が担当しています。会員の先生方全員が歯科健診に出務しますので、春には月例会において健診内容の説明、フッ化物塗布の説明を行います。会員全員が同じ認識で健診にあたり、指導を行うように情報の共有を図っています。平成31年4月10日には学校保健業務打ち合わせ会が行われ、教育委員会、校長会の役員、養護教諭、医師会の校医、歯科医師会の校医が集まり情報交換、懇親会を行いました。

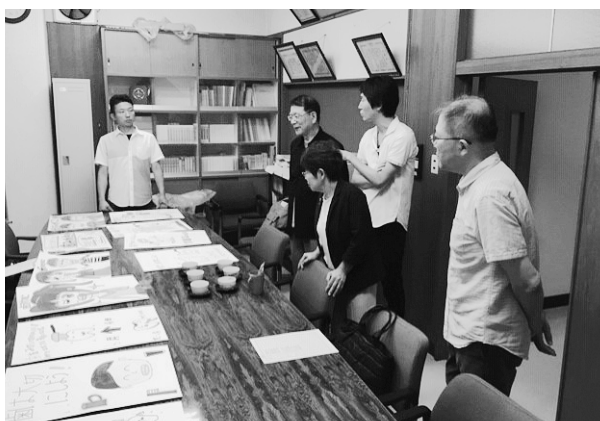
7月には、歯科保健図画・ポスター・標語の選定を委員会にて行い、毎年の事ながら児童・生徒の可愛い絵に心とまされたり、口腔に興味を持った標語の表現力に驚かされました。

秋になると、臨時歯科健診、第2回フッ化物塗布、就学時歯科健診の準備が必要となります。臨時歯科健診は、春の歯科健診後処置を行っていない児童・生徒に受診を促す事で未処置歯数の減少に繋がっていると思います。幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校

の歯科健診に出務する回数は、会員1人あたり年間4～5回と負担をかけていますが、歯科医師、学校歯科医の義務と理解して頂いています。

冒頭で書きましたが、委員会は学術も兼務しているので、平成30年7月に九州歯科大学口腔機能発達学分野の西田郁子講師、病院准教授をお招きして「小児期の咬合育成－健全な永久歯列を導くために－」という演題で講演をして頂きました。健診の場で早期にスクリーニングし、各診療所で適切に対応すべく定期的な学習が必要と思われます。

今後も児童生徒の健康を保持増進出来るよう会員一体となって活動していきたいと思っています。



八幡歯科医師会における学校歯科保健活動について

〈八幡〉楠 本 俊 司

八幡歯科医師会では、フッ化物応用の啓発活動の一環として、イオン八幡東ショッピングセンターにて「フッ素イオン de ハッピーフェスタ」を平成30年10月28日(日)に開催した。福岡県衛生士会北支部、北九州市保健福祉局事業協力歯科衛生士会、八幡薬剤師会にも協力していただき、無料歯科相談や口腔衛生指導、歯科矯正相談、年齢に応じた「歯科クイズ」の実施、フッ素の効果についての実験や、フッ素洗口剤を実際に子供たちに洗口を体験してもらった。さらに今回は口腔ガン検診(九州歯科大学 吉岡泉教授にご協力いただきました)やお薬相談などのコーナーも加わり、各コーナー合わせると延べ992名の来場者があり、予想を大幅に超える盛況であった。来場者の半数以上が、小、中学生とその保護者で、口腔内への関心が非常に高いことを実感することができた。また、同会場において「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」に応募いただいた図画・ポスター・標語を、多くの来場者に見ていただけるようにと考え、1週間展示した。この事業も今回で9回目となり、開場前から例年に比べ大勢の方がお越しになっており、地域の方に根づいた感があり、今後もさらに地域住民、特に子供たちが自分の口腔内への関心をより高めることができればと考えている。

また、学校歯科医を対象とした事業として、毎年学校歯科健診が始まる前の年度末に、学校歯科医研修会を行っており、平成31年3月28日(木)に八幡歯科医師会館において開催された。今年度は、就学時健診の内容が一部変更になったことから、

学校歯科医並びに協力歯科医、来年度より新しく学校歯科医になる先生の出席の中、学校歯科健康診断早見表、学校歯科医の活動指針(5版2018年改訂版)、学校歯科医ハンディノート、また、日学歯のホームページから引用した就学時健診の変更内容に基づいて、本会地域保健委員会の副委員長であり、県学歯広報委員の江口明宏先生が講演を行った。

本会における啓発事業として、令和元年8月1日(木)本会会館において「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」の審査会を行った。今年度も、多数の図画・ポスター、啓発標語の応募があり、本会執行部役員ならびに地域保健委員会委員による厳正な審査により、本年度の入賞作品を決定し、その中から小学生低学年、高学年、中学生の部で、それぞれ1点ずつ福岡県学校歯科医会のコンクールに提出した。



歯ツッピーフェスタ



学校歯科医研修会



よい歯の図画ポスター展示

表彰おめでとうございます

◎秋の叙勲

◇瑞宝双光章

期 日 令和元年12月13日(金)

場 所 国立劇場



井手口 薫
(京 都)

◎文部科学大臣表彰

期 日 令和元年11月21日(木)

令和元年度全国学校保健・安全研究大会



柳 迫 正 俊
(八女筑後)

◎福岡県学校保健功労者

期 日 令和元年11月27日(水)

場 所 福岡リーセントホテル
舞鶴の間



田 渕 浩
(京 都)



永 末 天
(田 川)



塩 川 宣 子
(直 方)



江 藤 友 善
(宗 像)



服 部 政 彦
(粕 屋)



梶 原 健
(粕 屋)



辻 勇 雄
(粕 屋)



蓮 田 淳 介
(粕 屋)



林 亮 子
(粕 屋)



西 原 義 一
(糸 島)



内 田 彰 一 郎
(筑 紫)



平 田 俊 彦
(小 郡 三 井)



豊 福 史 耕
(小 郡 三 井)



東 春 男
(久 留 米)



宮 園 啓 治
(八 女 筑 後)



岩 崎 繁
(大 川 三 湊)



橋 本 敏 昭
(小 倉)



加 来 弘 志
(八 幡)

◎第58回全日本学校歯科保健優良校

筑 紫 春日市立春日東小学校 (奨励賞)

事業報告

研究・研修事業

(1) 令和元年度全国学校保健・安全研究大会
日 時：令和元年11月21日(木) 22日(金) 13：00～
場 所：ソニックシティ(埼玉県)
出 席 者：杉原会長・平瀬副会長・柳迫専務理事・三箇監事
主 題：生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～主体的に健康課題の解決に取り組み未来を拓く子供の育成～

(2) 第69回全国学校歯科医協議会
日 時：令和元年11月21日(木) 15：30～20：30
場 所：パレスホテル大宮
出 席 者：杉原会長・平瀬副会長・柳迫専務理事・三箇監事
講 演：「マウスガードの有効性とより安全性の高いマウスガード」
東京歯科大学口腔健康科学講座
スポーツ歯学研究室 教授 武田 友孝

(3) 第24回福岡県学校歯科保健研究大会
日 時：令和元年11月16日(土) 13：00～17：20
場 所：福岡県歯科医師会館 5階 大ホール
参 加 者：296名

主 題：『歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して』
～発育期における生きる力を育む学校歯科保健～

実践活動報告①
いつまでも健康な歯・口を保つための自己管理能力の育成
～生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業の取組を通して～
桂川町立桂川東小学校 養護教諭 穴 井 由 貴

実践活動報告②
歯や歯ぐきの健康をつくる子どもを育てる歯科保健教育の一方途
～発達段階に応じた関心を高めていくためのカリキュラムづくりを通して～
大牟田市立駛馬小学校 主幹教諭 西 峯 幸 子

基 調 講 演
「知ってる？知らない？再確認！口からはじめる健康づくり」
～態癖、舌位置、食育について～
一般社団法人大牟田歯科医師会 学校歯科医 高 村 聖 一

特 別 講 演
「未来を担う子どもたちのより良い口腔育成のために」
公立大学法人九州歯科大学 口腔機能発達学分野 教授 牧 憲 司

会務報告

各種会議・会員現況報告

平成30年度	令和元年度
12月1日 第4回広報委員会	5月11日 第2回常務理事会
8日 第3回90周年記念誌臨時委員会	11日 第1回定時監査委員会
15日 第6回学術委員会	18日 第1回理事会
15日 第5回普及指導委員会	18日 令和元年度定時総会(第110回)
15日 第4回制度調査委員会	正・副議長打合せ会
15日 第5回広報委員会	6月1日 第2回学術委員会
22日 第8回理事会	1日 第1回広報小委員会
1月12日 第5回常務理事会	5日 第1回選挙管理委員会
12日 第2回定時監査会	15日 令和元年度定時総会(第110回)
19日 第6回普及指導委員会	15日 第1回臨時理事会
19日 第5回制度調査委員会	15日 第2回臨時理事会
26日 第9回理事会	15日 第2回理事会
2月9日 第7回学術委員会	7月6日 第3回常務理事会
16日 第6回常務理事会	20日 第3回理事会
23日 第10回理事会	27日 第3回学術委員会
23日 平成30年度臨時総会(第109回)	27日 第1回普及指導委員会
正・副議長打合せ会	27日 第2回統計調査委員会
3月2日 第7回広報小委員会	27日 第2回広報委員会
9日 第11回理事会	9月7日 第4回理事会
16日 平成30年度臨時総会(第109回)	7日 図画ポスター審査会
	21日 第2回広報小委員会
	28日 第2回選挙管理委員会
平成31年度	10月12日 第5回理事会
4月6日 第1回学術委員会	19日 第4回学術委員会
13日 第1回理事会	26日 第2回普及指導委員会
20日 第1回統計調査委員会	26日 第3回広報委員会
20日 第1回広報委員会	11月2日 第4回常務理事会
	2日 第3回広報小委員会
	30日 第4回広報委員会

会員現況報告(令和元年12月1日現在)

加盟団体名	会員数	加盟団体名	会員数
京 都	46名	久 留 米	56名
豊 前 築 上	12	八 女 筑 後	56
田 川	39	大 川 三 瀧	24
直 方	40	柳 川 山 門	33
飯 塚	63	大 牟 田	44
宗 像	57	門 司	29
柏 屋	27	小 倉	34
糸 島	7	戸 畑	5
筑 紫	84	若 松	5
朝 倉	26	八 幡	81
小 郡 三 井	25	遠 賀 中 間	38
浮 羽	19	合 計	849

東地区200名、西地区175名、南地区283名、北地区192名

◎公 告

○令和元年度 臨時総会（第112回）

日 時 令和2年3月14日（土）午後3時00分

場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

◎予 告

日 時 令和2年2月1日（土）

更新研修：午後2時00分～午後3時30分

（受付 午後1時30分～）

基礎研修：午後3時45分～午後6時55分

（受付 午後3時30分～）

（併催 学校歯科医新任研修会）

場 所 福岡県歯科医師会館5階 視聴覚教室

定員100名

※更新研修は西地区・南地区の先生方を対象

（更新研修は日本学校歯科医会会員で、平成24年度までに基礎研修を受講されている先生方）。東地区・北地区の先生方は来年度、ご案内いたします。

物 故 会 員

自 令和元年10月27日 至 令和元年12月21日

ご冥福をお祈り致します

山之内 努 70才（八 幡）

新 役 員 紹 介



理事 加来 弘志

この度、統計調査担当理事の重責を拝命することとなりました。過去の委員、理事の経験を生かして微力ながら少しでも貢献できますよう務めて参りますのでよろしくお願いいたします。

訂正とお詫び

ニュースレター8号に掲載しておりました学校歯科医の表彰につきまして、誤りがありました。

ニュースレター9号で訂正記事を掲載いたしますが、取り急ぎ会報にて訂正、謝罪をいたします。

1. 叙勲の1)春秋叙勲、2)高齢者叙勲につきまして次のように訂正いたします。申し訳ございませんでした。
広報担当理事 白木 博繁

1. 叙勲

1) 春秋叙勲

70歳以上であり、次のいずれかの条件を満たす者

- (1) スポーツ、学校保健、学校安全、学校給食及び青少年教育の分野において国の発展に貢献し、あるいは社会公共の福祉の環境に寄与したと認められる者で、関係団体役職歴が概ね20年以上の者。
- (2) 学校歯科医にあっては、業務歴が40年以上の者。

2) 高齢者叙勲

春秋叙勲の対象となる条件を備えていながら、様々な事情で叙勲受けられなかった者で、発令日（1日）の前月及び当日に88歳になる者。

編 集 後 記

6月のある晴れた火曜日の朝、診療所の前の路上で子ネコを保護し、つぶらな瞳に見つめられて以来、うちの子になりました。ネコを飼った事のない先生は、ネコの歯も生え変わることをご存知ですか？ネコの乳歯は26本あり、生後3ヶ月から半年にかけて永久歯に生え変わり、永久歯は全部で30本あります。それまでは縁遠かったペットコーナーにも自然と足が向かうようになったのですが、驚いた事にネコ用のデンタルグッズも売っています。ネコはむし歯にはなりにくいようですが、キャットフードで歯垢が付きやすく、歯周病になりやすいため、ネコにも歯みがきが推奨され、動物病院では歯石除去も行っています。通常、全身麻酔下で超音波スケーラーを用いて歯石を除去し、除去後はちゃんと研磨もするようです。必要あれば、歯科用のレントゲン写真を撮り、重度の歯周病の歯は抜歯も行うようです。それでも僕はネコのデンタルケアをしていません。ネコは気まぐれで不用意に触ると、噛まれたり、引っかかれたりと逆襲にあうからです。歯医者では手が命です。甘噛みでも痛いものです。ケアよりも歯牙鋭縁をタービンで丸めたい衝動に駆られますが、家族に動物虐待だと止められています。

広報委員会 委員長 入江 祐彰



苅田町 等覚寺の棚田

県学歯会報

第 93 号

毎年1回発行

発行人 杉原 瑛治

発行所 〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-43
 一般社団法人 福岡県学校歯科医会
 TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599
 E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp
 U R L <http://www.fk-gakusi.jp>

印刷所 〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町12-29
 株大里印刷センター
 TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715